### ●計画の進め方

計画の推進にあたっては、地域住民や、福祉事業所や各種団体との連携・協働を図っていきます。

### 福祉事業所

- ・行政・社協との連携
- 近隣住民との交流

### 地域住民

- ・自助の努力・共助への参加・30地区福祉会等での地域
- 支え合い活動の推進



策定・評価委員会

### 合同事務局

- 役場福祉課
- 社会福祉協議会

企画立案

## 民間事業所

• 地域貢献活動

# 関係機関・団体

• 地域住民、事業所等との連携

### 山都町

- ・ 地域福祉の推進
- 関係課、関係機関との連携

### 地区福祉会

行政• 社協• 地域住民等

との連携・協働

- 地域での支え合いの取り組み
- ・いきいきサロンや見守り活動
- 地域住民交流等

調整会議

(合同事務局と関係各課)

各種調整

### 山都町社会福祉協議会

- ・30地区福祉会活動支援と連携
- ・ 地域住民、事業所等との連携

連携・協働

### 策定・評価委員会

- 取り組みの評価、分析、改善及び 提言
- ・各団体・機関での地域福祉の取り 組みに係る情報交換

### 地域住民·地区福祉会

- ・自助の努力・共助への参加
- ・30地区福祉会での地域支え合い活動の推進

### 福祉事業所・各種団体

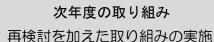
- 地域貢献活動
- ・地域住民との連携した活動による福祉拠点の役割

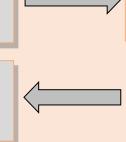
●計画の評価方法

町と社会福祉協議会で連携して毎年度の取り組みを整理し、関係課による調整会議で評価・検 討を加え、次年度以降の取り組みに反映していきます。

### 各年次の取り組み整理・報告

関係課の取り組みを含め、合同 事務局で、取り組み状況を整理





### 調整会議での評価・検討

進捗状況の確認及び情報の交換 とともに毎年度の評価を行う

### 次年度取り組みへの反映

上記の評価・意見をもとに次年度の取り組みを検討

山都町福祉課 0967-72-1229 山都町社会福祉協議会 0967-82-3345

# 川都町

# 地域福祉計画 • 地域福祉活動計画 概要版

山都町・山都町社会福祉協議会

山都町と山都町社会福祉協議会では、相互に連携して地域での支え合いを推進するために、地域福祉に関する計画を策定しました。

このパンフレットは、その内容をお伝えするものです。

少子高齢化や人口減少などが進む中、障がいや高齢化、子育てなどの課題や、経済面・健康面など様々な生活課題を抱える世帯や人が多く見られ、従来の福祉制度だけでなく、 近隣での目配りや気遣いなど地域での支え合いが、重要になっています。

### ●計画の位置付け

地域福祉は「身近な暮らしの場」で地域の福祉資源(施設や人材等)を活用し、地域で工夫して進める福祉のことです。

### 地域福祉

地域の持つ資源(事業所や人材等)をもとに、 地域の状況・課題に応じて、 地域で工夫し支え合う地域づくり

### 地域福祉計画

山都町が地域福祉推進に関する 今後の取り組みをまとめる計画 平成 23 年度に山都町保健福祉 総合計画の一環として策定

### 地域福祉活動計画

社会福祉協議会が、地域福祉推進の取り組みをまとめる計画 平成21年度に第1期、26年度に第2期計画を策定

山都町地域福祉計画地域福祉活動計画 令和元年度、行政、社協の計画を一体的に策定 令和2年度から6年度までの計画

### ●計画の基本目標(スローガン)

### みんなでつくる向こう三軒両隣しあわせ笑顔の山都町

これまでの地域福祉活動計画の「向こう三軒両隣、しあわせ笑顔の山都町」の考えをもとに、行政、社協、地域住民、各種事業所等が協力することを示す、「みんなでつくる」等の意味合いを加えます。

### 基本目標 (スローガン)

安心して住みつづけられる 山都町をめざす

以前に比べたら

過疎・高齢化だけど

地域の力はここにあり

みんなでつくる 向こう三軒両隣 しあわせ笑顔の 山都町

## 

●計画の柱と主要事項

計画の基本理念を進める3つの柱を定め、とくに重要な取り組み事項をまとめます。

### 計画の柱

1. 地域福祉の啓発と 人材の活躍

基本となる地域福祉の啓発 と理解促進 人材の活躍・人材連携の推進



福祉体験

2. 地域支え合い活動 の推進

身近な生活単位である地区 福祉会や各行政区等での支 え合い活動推進

3. 関係機関の連携・協働

総合相談や地域包括ケア等、

関係機関・多職種の連携によ



地区懇談会

●地域福祉の広報・啓発

地域福祉そのものの 啓発・情報発信や地域で の取り組み事例などを 広報し、周知を図りま す。福祉関連事業所等で のいろいろな活動や改 善の工夫の広報など、相 互の交流や連携につな げます。

情報をわかりやすくし、 共有できるよう いろいろな広報媒体 の活用 広報・啓発機会の 関係課の共同活用 ●人材の活躍の引きだし 地域支え合いの意 識を若い世代に伝えていくことが重要と考えます。そのため、学校 教育の中で、認知症学 習や乳幼児・高齢者等 との交流など福祉体 験・教育を進めます。

小中高校生の活躍機会 福祉体験学習 認知症サポーター養成講座 地域住民との交流

高齢者の活躍機会 老人クラブでの子どもの見守り活動 子どもたちとの交流活動 高齢者の知恵、技術の発揮

### 計画の柱の展開項目

- ①地域福祉の広報・啓発
- ②地区福祉会、民生委員・児童委 員、福祉委員等の広報
- ③子どもたちの福祉の意識づくり
- ④生涯学習での意識づくり
- ⑤人材の活躍機会の工夫
- ⑥ボランティアの育成と活躍機会 の提供
- ⑦福祉団体活動の支援と連携

⑧地区福祉会活動の充実

⑩サロン活動の推進

⑪生活支援の推進

⑨見守りネットワークの充実

12地域での防災・防犯活動の推進

●地域での支え合い活動の推進

身近な地区福祉会や行政区 等で地域住民ならではの支え 合い活動を支援していきま す。

そのため、地区座談会やサロン等の地域での集まりを利用し、地域福祉に関する情報の提供や意見収集を行うとともに、地域の困りごとの確認や地域でできる取り組みなどの話し合いを進めます。

区分	内容(例示)
地域での福祉の意識づくり	・座談会で地域支え合いの重要性や事例の学習 ・地区懇談会や行政区や各団体・グループ等での福祉研修
交流活動 既存の地域行事の再評価	・地域の行事や清掃活動などそのものが、地域での顔合わせ・安否確認、気遣いの基本となることから活動の大事さの啓発を行う
見守りネットワーク	・防災見守りマップ作成と更新 ・ひとり暮らし高齢者等の日常の見守り・声かけ(回覧板の手渡し)
ふれあいいきいきサロン活動	<ul><li>・公民館などに月一回程度集まり、おしゃべりやゲーム、軽体操など</li><li>・安否の確認にもなり、なにより顔を合わせることが楽しみ</li></ul>
生活支援活動	<ul><li>・ゴミ出しや、電灯の交換、家具の移動等のお手伝い。気軽に頼めて、 過度なお返しにならない仕組みづくり</li></ul>
防災・防犯活動	<ul><li>・子どもの安全などの見守り。防犯意識の推進</li><li>・初期消火(消火器の使い方)、避難・炊き出し訓練</li></ul>
健康づくり活動、福祉学習活動	・生活習慣病予防、健康づくり、介護予防等に関する学習会の開催 ・健康増進のための、軽スポーツなどの実施
福祉コミュニティビジネス (地域おこし活動)	<ul><li>・地域に活力がわくようなビジネス(経済活動)の取り組み</li><li>・地域再発見のなかで、地域の産物等の活用の検討</li></ul>

調整会議

### ●専門機関連携による課題解決の充実

高齢者、障がい者、生活困窮、複合課題を抱える 人等に対し、今後の一層の充実をはかり、全世代を 対象とする地域包括ケアを各課・関係機関の連携 で進めます。

> 総合的・継続的な対応 (地域人材や資源を活かした支援) の体制整備

### ●地域での気づきと地元での支援

課題を抱えつつも相談に来られない人や世帯に対して、近隣での「気づき」をもとに相談支援につなげていきます。また、日頃の見守りや声かけなど、近隣ならではの支援を推進していきます。



- ③総合相談・総合対応の充実
- 14地域子育て支援
- 15 障がい者地域共生
- ⑥地域での健康づくり・介護予防
- ⑪地域での認知症対応
- ⑱避難行動要支援者の支援
- 19権利擁護の推進
- ⑩生活困窮等への対応
- 21)自殺防止対策
- ②各種団体・福祉関連事業所の連携・構築

